

兵庫県丹波篠山地域

300年続く黒大豆の郷で
田園風景と伝統文化を楽しむ旅

日本農業遺産
「丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史」

兵庫県丹波篠山市は、日本有数の黒大豆の名産地。その歴史は300年以上前にさかのぼります。この地域は雨が少なく、水不足に悩まされていたことから、稲を植えない「犠牲田」を設け、そこで黒大豆を栽培するようになりました。畝を高くすることで土を乾燥させて畑作を可能にし、灰屋（はんや）と呼ばれる小屋で木の枝やわらなどを土と重ねて焼き、その灰を肥料にして自然資源を循環させてきました。市内には今も約260の灰屋が残されています。



●丹波たぶち農場の黒大豆の畑。秋の収穫期は黒大豆を買いに訪れる人で賑わう●兵庫県丹波地方発祥の信州「丹波黒」。黒大豆としては世界最大級の大きさを誇る●小田垣豆堂の黒豆をこのソフトクリームパフェ●市内に点在する灰屋。昔ながらの農村風景を伝えている

18日

JR篠山口駅（JR宝塚線・福知山線）

篠山口駅東口サイクルポート、篠山観光案内所には市内観光に便利なレンタサイクルがあります。詳しくはこちら→



●車で約9分



丹波たぶち農場

7～8月に行われるファームツアーでは、伝統農法が生まれた理由やブランド豆「丹波黒」のおいしさの秘密を学べるほか、夏枝豆の収穫体験、試食ができます。10月上旬から11月上旬は黒枝豆狩り体験ができます。

住所：兵庫県丹波篠山市口坂本158-3
電話：090-8650-0415



●車で約4分



ヘリテージフットパス

のどかな里山をめぐる、約1時間の周回散策路。地元ガイドの案内で見学が可能です（詳細は要問合せ）。電線や電信柱が見えない昔ながらの田園風景や、肥料づくりのための灰屋が10軒ほど残っており、伝統農法を今に伝えています。

住所：兵庫県丹波篠山市大野・矢代周辺
電話：079-552-1114（丹波篠山市農都政課課）

●車で約10分



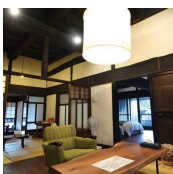
篠山城跡・篠山城大書院

篠山城は江戸初期に徳川家康の命で築かれました。その中核となった大書院は、一大名の書院としては破格の規模と建築様式を誇ります。館内には篠山城の歴史が展示され、甲冑（かっちゅう）、打掛の着付け体験もできます。

住所：兵庫県丹波篠山市北新町2-3
電話：079-552-4500



●車で約15分



福泊 集落丸山

山裾に広がる丸山集落にある一棟貸しの古民家宿泊施設。元の間取りを残しながらモダンで使いやすく改装されています。朝は集落の方が台所に来て、炊き立てのご飯や地元の食材を使った朝食を用意してくれます。

住所：兵庫県丹波篠山市丸山30
電話：079-506-0243



28日

集落丸山

●車で約13分



丹波篠山市立歴史美術館

かつての裁判所を改装した美術館。木造建築の裁判所としては国内最古級で市文化財に指定されています。旧法廷が見学できるほか、武具や美術品などを展示。篠山藩藩王地山焼の箸置きや勾玉を作る体験もできます。

住所：兵庫県丹波篠山市呉服町53
電話：079-552-0601



●徒歩約14分



河原町妻入商家群

篠山藩の商業の中心地として栄えたエリア。江戸時代の城下町の姿を今に伝える町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれています。歴史ある商店のほか、カフェや雑貨店もあり散策が楽しい通りです。

住所：兵庫県丹波篠山市河原町
電話：079-552-3380（篠山観光案内所）



●徒歩約1分



小田垣商店

創業290年を誇る老舗黒豆専門店。明治時代には農家に黒大豆の種を販売し、生産物を買上げて全国に販売し「大玉丹波黒大豆」の名を広めました。館内のカフェ「小田垣豆堂」では黒豆のスイーツも楽しめます。

住所：兵庫県丹波篠山市立町19
電話：079-552-0011



●車で約12分

JR篠山口駅

大阪からのアクセス

●鉄道をご利用の場合

JR大阪駅

JR宝塚線・福知山線で約1時間

JR篠山口駅

●自動車をご利用の場合

大阪方面

中国自動車道、舞鶴若狭自動車道 約1時間

丹南篠山口IC

兵庫県南あわじ地域

水稲・牛・たまねぎの循環システムが育んだ
淡路島のおいしいものを訪ねる旅

日本農業遺産「南あわじにおける
水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム」

兵庫県淡路島の南あわじ地域では、農地が少なく水に恵まれない「島という環境」に適応するため、ため池、河川、用水路や地下水を組み合わせたかんがい施設が発達し、稲刈り後にたまねぎを栽培する二毛作が行われてきました。それにより、稲わらを乳牛の飼料とし、牛ふんを堆肥化させたものを土にすき込んでたまねぎを栽培する循環システムが確立されています。太陽光と海風でたまねぎを乾燥させる「たまねぎ小屋」はこの地特有の風景です。



●甘くてやわらかい淡路島たまねぎ。南あわじ市におけるたまねぎの作付面積は全国4位を誇る●自然の風でたまねぎを乾燥させるたまねぎ小屋●農業用水を公平に分配するために設けられた門閘分水●現在も数軒の農家が「長屋門」とよばれる門の中で牛を飼育している

18日

洲本バスセンター

●車で約22分



淡路ファームパーク イングランドの丘

広大な敷地を誇る農業公園。収穫体験ができる野菜畑、トマトやいちごの温室のほか、コアラやワラビーなど約30種類の動物も見学できます。レストランでは淡路牛と淡路島たまねぎを使った「うし重」が大人気。

住所：兵庫県南あわじ市八木養宜上1401
電話：0799-43-2626



●徒歩約2分



美菜恋来屋（みなこいこいや）

淡路島のおいしいものがそろった直売所。売り場面積日本最大級を誇るたまねぎをはじめ、鮮度抜群の野菜、ブランド牛の「淡路ビーフ」、乳製品、近海の魚、地ビールに名産のそうめんも充実。淡路島のみやげ探しに最適。

住所：兵庫県南あわじ市八木養宜上1408
電話：0799-43-3751



●車で約12分



淡路島濱田ファーム

たまねぎ農家の濱田哲司さんから、淡路島たまねぎの歴史や栽培の工夫、おいしさの秘密などのお話を聞いた後、たまねぎの植え付けや収穫体験（9～6月）。それ以外の期間はたまねぎの袋詰めが体験できます。

住所：兵庫県南あわじ市松崎知志川860-1
電話：090-1582-7592



●車で約40分



福泊 アグリミュージアムNADA

廃校になった小学校を活用した宿泊施設。「校庭トマト」、「教室バジル」を栽培しており、これらを収穫してピザ作りが楽しめます。釣った魚をさばいて食べる体験や地域食材のバーベキューも人気です。（要問合せ）

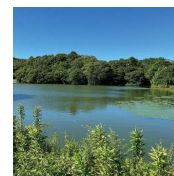
住所：兵庫県南あわじ市灘山313
電話：070-9012-1349



28日

アグリミュージアムNADA

●車で約22分



サザンバード 農業遺産ツアー

淡路島の農業を深掘りするツアー。かつて農家が牛を飼っていた「長屋門」と呼ばれる屋敷構や、ため池が密集する風景などを見学。たまねぎの収穫やつり干し（時期によってはたまねぎジャム作り）を体験します。

集合住所：兵庫県南あわじ市賀集生963
電話：080-4236-0626



●車で約12分



淡路人形座

淡路島の郷土芸能、淡路人形浄瑠璃を通年上演する常設館。公演前には演目のあらすじやみどころ、人形の動かし方も解説されます。バックステージ見学と短い演目の鑑賞を組み合わせたプログラムも人気です。

住所：兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先
電話：0799-52-0260



●車で約12分



うずの丘 大鳴門橋記念館

大鳴門橋と鳴門海峡を見渡せる商業施設。巨大たまねぎのオブジェ「おっ玉葱」は撮影スポットとして大人気。たまねぎが主役のハンバーガーにたまねぎのクレーンゲームもあり、たまねぎ尽くしの時間が過ごせます。

住所：兵庫県南あわじ市福良丙936-3
電話：0799-52-2888



●車で約30分

洲本バスセンター

大阪からのアクセス

●鉄道・バスをご利用の場合

JR大阪駅

高速舞子バス停

JR神戸線で約50分、舞子駅下車、徒歩約5分、

高速舞子バス停から淡路交通バス、洲本バスセンター行きで約1時間

●自動車をご利用の場合

大阪方面

阪神高速、神戸淡路鳴門自動車道 約1時間30分

洲本I.C.